

事業所名	カナの家		公表日：令和 8年 2月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	10	少し狭いと思う。 狭いと感じる。 昼寝スペース等もう少し欲しい。	近くの公園なども活用して、取り組みを検討しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	10	もう少し人がいると良いと思う。 特に昼食時が少ないと感じる。安全のため少しでも多い方が良い。	職員の連携等はもちろんのこと、増員等も引き続き検討していきます。昼食時の人員は増員予定です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2		できるだけ何も置かないように心掛けているが、環境面の配慮については常にきをつけていかなければいけない課題だと認識しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	3		今は空いている教室を利用しているが、今後教室が空いていないときの対応を考えていかなければならない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	5	職員全員が自己目標を立て、業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		月1回の職員会議に組み込んで職員に周知し、話し合っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		月1回の職員会議で話し合いの場を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	7	第三者評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0		事業所内研修と事業所外研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0		支援計画書は毎日の記録の際に、見る習慣をつけています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	5		インフォーマルなアセスメントは常に行っているが、職員にアセスメントを行っているという意識が低いいため、今後研修を通して意識を高めていきたいと考える。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	クラス毎に立案し、他クラスと調整を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	2	クラス担当を決め、円滑に進められるよう準備、進行を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3		送迎に出ている職員がいるため、情報共有の方法を検討していく必要があると考えます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		見直しの必要があると判断した際には、都度クラスの職員に下して検討しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		管理者が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0		保育所等訪問事業も活用しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	3		問い合わせがある場合とない場合があり、ある場合のみ情報共有している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	4		他施設と連携を図っています。地域の質の向上については、和歌山市の自立支援協議会で検討を重ねています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	10	2	愛徳医療福祉センターと連携して、勉強会も開催している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	2		必ず参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	7	基本併行通園なので、地域の中で他のこどもと活動している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	就学に向けた勉強会や意見交換の場などを設けている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約の際に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	1	月一度家族で参加できるイベントを開催し、交流の場としている。 イベントや勉強会、参観等で自由な交流をしてもらっている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	4	毎月のお便りを発行し、お知らせをしている。 HPは活用できていない。SNS等の発信は行っていない。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		愛徳医療福祉センター全体で取り組んでいます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8	愛徳医療福祉センター全体の行事は地域と共に行っている。	地域に開かれた事業運営を行わないといけないと考えているため、その方向で方法等を検討しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3	各マニュアルは策定し、職員に周知し発生を想定した訓練を実施している。 防犯訓練や避難訓練など実施予定をお便りで知らせている。また、訓練の様子もお便りで知らせている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	BCP策定済。カナの家での避難訓練や、愛徳医療福祉センター全体の防災訓練も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	対応し、除去食を提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	4	周知が充分でない。 周知しきれていない。	安全計画については、保護者様に情報伝達し、共に取り組む機会も設けないといけないと考えています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	愛徳医療福祉センター全体でヒヤリハットインシデントを共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		人権擁護・虐待防止・身体拘束に関する研修を愛徳医療福祉センターとカナの家で年5回実施しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0			